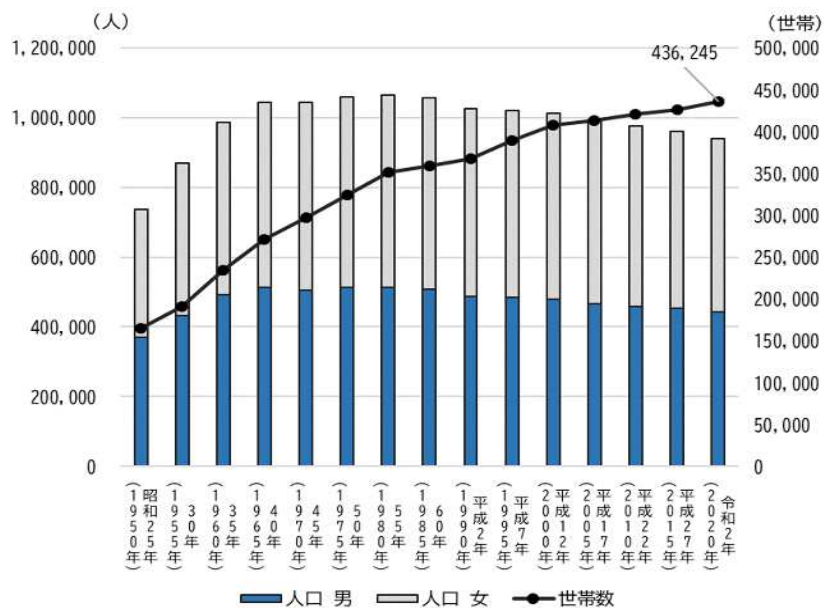


第2章 食をめぐる現状と課題について

Ⅰ 北九州市の概況

(1) 人口及び世帯構造

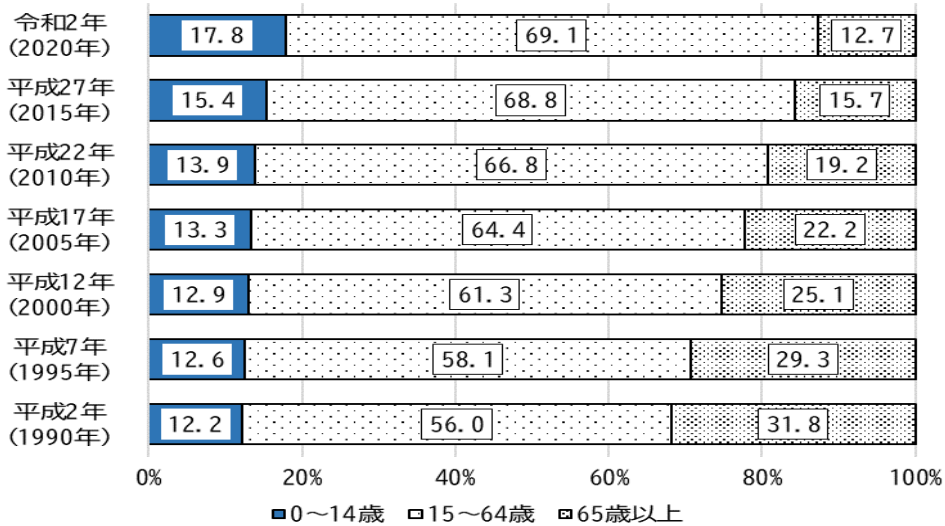
令和2年(2020年)10月に実施された国勢調査では、北九州市の人口は939,029人、世帯総数は436,245世帯です。



世帯総数：世帯の種類「不詳」を含む

令和2年(2020年)の高齢化率は31.8%で政令市の中で最も高くなっています。また、一人世帯が40.9%と最も多く、1世帯当たりの平均人員は2.09人で、世帯の小人数化が進行しており、家庭内での共食や食事のマナーや食文化の伝承が難しくなりつつあります。

3区分別人口の推移

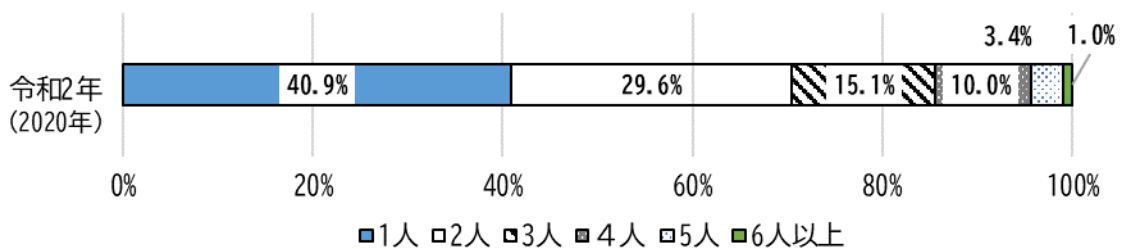


【出所】総務省「国勢調査」(各年10月1日現在) ※年齢不詳は年齢区分人口に含まない

一般世帯数および世帯人員(令和2年(2020年))

一般世帯数	世帯員員数(1世帯当たりの平均人員2.09)					
	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上
435,364	177,958	128,792	65,695	43,736	14,684	4,499

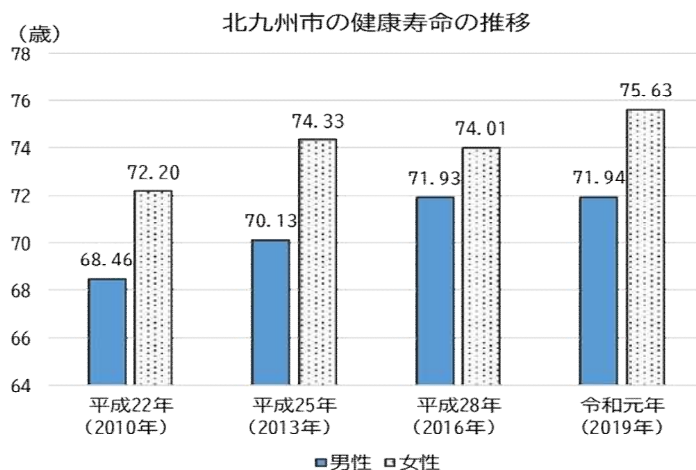
一般世帯数に占める世帯員数別世帯の割合



【出所】総務省「国勢調査」(各年10月1日現在)

(2) 健康寿命

日常生活に制限のない期間を「健康寿命」といいます。本市の健康寿命は平成22年(2010年)と令和元年(2019年)を比較すると、男女とも3.4歳以上延伸しています。



出所：厚生労働省研究「健康寿命および地域格差の要因分析と健康増進対策の効果検証に関する研究」

2 農林水産業の現状

生産者の高齢化や担い手不足による生産水準の低下が懸念されています。

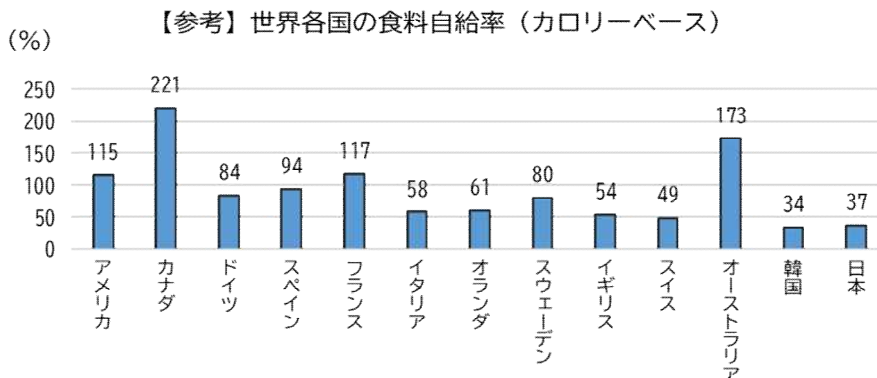
	平成12年 (2000年)	平成22年 (2010年)	令和2年 (2020年)
農家戸数	3,793 戸	3,003 戸	2,023 戸
畜産農家数	38 戸	20 戸	13 戸
漁業経営体数	680	548	407

出所：産業経済局調べ

我が国の食料自給率（令和2年度）

食料は人間が生きていくために欠かすことのできないものです。

国民 1 人 1 日あたりに供給している全品目の熱量の合計（供給熱量：2,426kcal）に占める国産の熱量の割合を計算した直近（令和2年度（2020年度））の値は、「37%」となっています。

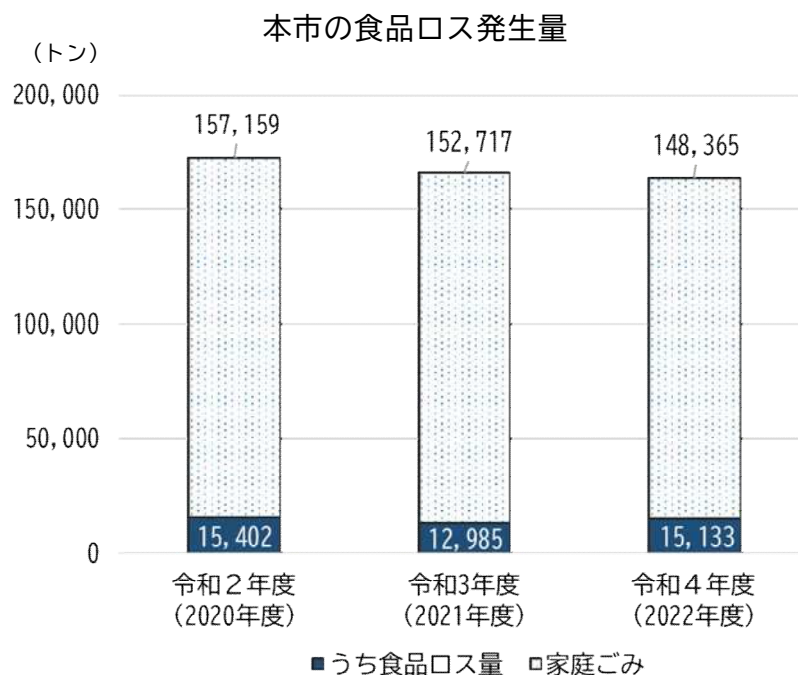


出所：農林水産省食料需給表諸外国の食料自給率等

3 食品ロスの現状

「食品ロス」とは、まだ食べられることができるにもかかわらず廃棄されている食品のことです。食品ロスを削減することは、食料の生産・製造に必要な資源・エネルギーの節約、それらの活動で排出されるCO₂の削減など、環境負荷の低減をもたらします。

本市の令和4年度(2020年度)の食品ロスの発生量は、15,133トンとなっています。



出所：環境局調べ